

James Molloy - MIRA Newsletter #25 J I Mのみしまものがたり㉕

オンライン学習

前回のMIRA通信発行から3ヵ月が経った現在、マスク着用、手の消毒、人との間隔をあける…など、世の中は新しい生活様式に沿って新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んでいます。



新型コロナウイルス発生前の生活に戻ることが難しいなか、日々を楽しむための新しいスタイルが構築されています。オンラインヨガを始めたり、以前より料理に手間をかけたり、または自宅をスポーツジムにしつらえたり。人々はこの状況下で有効に時間を活用しようとしています。



私もためになりそうなオンライン講座をサーチしています。少し検索しただけでも、写真撮影、デザイン、音楽や語学学習など、楽しくて興味深いものばかり。中でも一番興味を惹かれたのは、ハーバード大学の88講座が無料で提供されているということ。インターネット接続ができるデバイスを持っていれば、ハーバード大学の超一流の教授陣による神経科学、世界文学、起業家精神学、プログラミング、医学、法学…といった多彩な講義が、いつでもどこでも無料で受講できるなんて、すごい時代になったと思いませんか。

日記を書いたり、新しい味やレシピに挑戦したりしながら、私のサーチはまだ続きます。先日は20年ぶりにクラシックギターの弦も張り替えたんですよ！

MIRA通信をお読みの皆さんの中にも、コロナ禍以来何か新しいことを始めたり、これから何か始めようとしている方が多いと思います。それが何であれ、きっとこの時期を乗り切る術となってくれることでしょう。

それではどうぞお元気で。



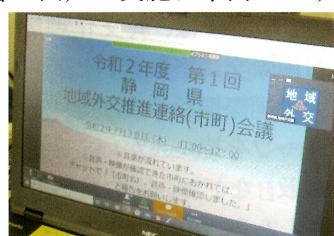
静岡県地域外交推進連絡会議がオンラインで開催

静岡県地域外交推進連絡会議が、7月30日、県内の市町を結びオンラインで開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、国を超えた往来が制限され、国際交流事業の推進が困難な状況が続くなか、県と市町の取組み内容について情報共有や意見交換をする場として、県地域外交課が主催して実施されたものです。

2月から3月に予定していた強化合宿が、感染拡大で航空便が停止し帰国できず、合宿を延長して練習のみの生活を119日間続け、ようやく6月にチャーター便で帰国できたモンゴルのパラナショナルチーム。市民から、食料・マスク等の支援があったとの焼津市の報告。島田市の国際交流協会では、Zoom（オンライン）を使って英会話やモンゴル語・韓国語の語学講座（各5回）を実施、市内ばかりでなく、市外・県外からの申込みもあった。など、興味深い事例も報告されました。

1年延期となったオリンピック・パラリンピックに関しては、県の担当課から、気運を維持するため、SNSを活用し情報発信強化に努めている。各国とのつながりを持ち続けられるように取り組みたい、との説明もありました。

なお、三島市からは、国際交流室の小嶋主事が、会議に参加しました。



麦畑（編集後記）

★MIRA通信は、今号も4ページに縮小してお届けします。長期戦のCOVID-19。外出自粛ですっかり外食なし。友人らとの飲み会がどれほど心身の健康に役立っていたのか、よくわかりました（S）

申込み・問合せ

★三島市国際交流協会（MIRA）事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021

★三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館

